

決議事項

1. 2025年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）事業報告並びに決算（計算書類）承認の件

1) 2025（令和7）年度東京都助産師会定時社員総会 報告

日時：2025（令和7）年6月14日（土）13：00～14：47

場所：公益財団法人 東京都助産師会館 5階講堂

社員総数：1147名

出席社員：682名（委任状含む）

定款第18条2項に基づき出席社員の中から、議長、橋本初江氏、副議長、三島典子氏、斎藤吏香氏が選出された。議長より、出席正会員（社員）および委任状数を報告し、正会員数の2分の1の出席をみたので議案の議決に必要な定足数を充足していることが告げられ、議案の審議に入った。

<監査報告>

監事の伊藤仁子より、本日の定時社員総会に提出されたすべての議案および書類を調査し、いずれも法令および定款に適合しており、不当な事項はないと認めたことが報告された。

<決議事項>

1. 第1号議案 2024年度事業について代表理事の宗尚子、2024年度決算について財務理事の比嘉美貴より資料に基づいて説明されたあと原案どおり可決された。
2. 第2号議案 賛助会員の会費を、A・Bの2種類に区分し選択制にすることについて、代表理事の宗尚子より資料に基づいて説明があり、賛成多数にて承認された。

2) 2025年度事業報告

(1) 理事会・運営会議

- ・理事会、運営会議は、第4回・第8回を対面、それ以外はオンラインにて開催した。
- ・臨時理事会が5回開催、第1回・第2回・第4回は書面、第3回・第5回はオンラインにて開催した。
- ・昨年度に引き続き東京都委託事業として「妊産婦のためのオンライン相談」が実施された。
- ・2025年度東京都委託事業として「助産所と嘱託医療機関等との連携支援事業」が実施された。
- ・会計システム整備に着手。地区分会として使用する預金口座を本部と関連させた法人口座として新規開設した。預金口座の入出金について即時的に本部事務局で把握できるようにし、会全体の財務状況を適切に把握できる体制を整えた。

開催日	内 容
第1回理事会 2025年6月14日	<報告事項> 1. 理事会、地区分会長会議の年間工程表について <審議事項> 1. 2025年度組織名簿、部会、委員会、新委員承認 2. 日本助産師会 2025年度役員再選挙に係る理事、監事候補の推薦 3. 会計システム整備とサポートにかかるコストについて 4. 研修会運営のための助産師出勤費に関する申し合わせ事項 5. いいお産の日イベントについて 6. いのちのエducator 新規登録及び更新者認定の件
第2回理事会 2025年7月11日	<報告事項> 1. 会長、副会長報告 2. 専門部会・委員会報告 3. 事務報告 4. 東京都委託事業オンライン助産師相談 5. 会計システム整備とサポートにかかるコストについて 6. 国勢調査への回答協力依頼 7. 8月7日の日本助産師会臨時総会への協力 <審議事項> 1. 2026年度要望書 2. 賛助法人の承認 3. 2025年度組織名簿、部会、委員会、新委員承認 4. 会員の承認

第3回理事会 2025年9月8日	<p><報告事項></p> <p>1. 会長、副会長報告 2. 専門部会・委員会報告 3. 事務報告</p> <p>4. 東京都委託事業オンライン助産師相談</p> <p>5. その他（ドラッグストアショーへの参加報告、生協クラブとの育児講座のコラボの承認、いいお産の日イベント、産後ケアでの赤ちゃんの預かりについて情報共有）</p> <p><審議事項></p> <p>1. 会計システム整備とサポートに係るコストについて</p> <p>2. 賛助会員（企業）の進捗状況と今後 3. 会員の承認</p>
第4回理事会 2025年10月4日	<p><報告事項></p> <p>1. 会長・副会長報告 2. 専門部会・委員会報告 3. 事務報告</p> <p>4. 東京都委託事業オンライン助産師相談 5. その他（女児の頭部変形について助産師が提訴された件、早産児デーの件）</p> <p><審議事項></p> <p>1. 会員・賛助会員・賛助法人の承認</p>
第1回臨時理事会 （書面） 2025年10月30日	<p><審議事項></p> <p>1. ナチュラルサイエンス賛助団体会員承認の件</p> <p>2. いのちの教育委員会の講師採択と講師料の件</p>
第1回運営会議 2025年12月13日	<p><審議事項></p> <p>1. 専門部会・委員会の 2026年度活動計画・予算案</p>
第5回理事会 2025年12月13日	<p><報告事項></p> <p>1. 会長、副会長報告 2. 専門部会・委員会報告 3. 事務報告</p> <p>4. 東京都委託事業オンライン助産師相談 5. その他（マイクロバース、プレパパ講座、理事監事選挙について）</p> <p><審議事項></p> <p>1. 会員の承認 2. 外部理事の承認 3. 調布地区分会と狛江地区分会が「調布狛江地区分会」（通称調布狛江助産師会）合同地区分会になることの承認</p> <p>4. 日本助産会への要望提出の件 5. 外部理事・監事の手当の件</p>
第2回運営会議 2026年1月17日	<p><報告事項></p> <p>1. 専門部会・委員会の 2025年度活動報告</p>
第6回理事会 2026年1月17日	<p><報告事項></p> <p>1. 会長・副会長報告 2. 専門部会・委員会報告 3. 事務報告 4. 東京都委託事業オンライン助産師相談 5. その他（マイクロバース上映会、いのちの教育委員会メンバーの学会パネリスト出動、外部理事監事に関しては定款を変更）</p> <p><審議事項></p> <p>1. 会員・賛助会員の承認 2. 謝金規程 3. 細則変更（地区分会の変更に伴い、全体見直し修正） 4. 後援、共催依頼に関して 5. 2023年度、2024年度の公益黒字解消計画について</p>
第2回臨時理事会 （書面） 2026年1月31日	<p><審議事項></p> <p>1. 日本助産師会主催「産後の日」後援承認の件</p>

第7回理事会 2026年3月10日	<報告事項> 1. 会長・副会長報告 2. 専門部会委員会報告 3. 事務報告 4. 東京都委託事業オンライン助産師相談 5. その他（産後ケアでのアクシデント事例 開業助産師と嘱託医のグループヒアリング開催、会計事務所変更、拘置所入所者の養育支援）6. 助産所部会より：開業助産師と嘱託医の連携の実際（令和7年度助産所と嘱託医療機関等との連携支援事業グループヒアリング）Zoomにて <審議事項> 1. 会員・賛助会員・賛助法人の承認 2. 災害対策委員より「災害発生時の安否確認と支援」のHP掲載 3. 来年度の予算案と事業計画 4. 謝金規程
第3回臨時理事会 2026年3月21日	<審議事項> 1. 2025年度、2026年度予算について
第4回臨時理事会 (書面) 2026年3月31日	<審議事項> 1. 「生・性を語るエデュケーター認定制度募集要項」改訂案の件 2. 産後ケア事業受託中のアクシデント案件につき、行政に対する申し入れの件
第8回理事会 2026年5月22日	<報告事項> 1. 会長、副会長報告 2. 専門部会・委員会報告 3. 事務報告 4. オンライン助産師相談 5. 顧問会計事務所の変更について 6. 業務ファイル作成について <審議事項> 1. 会員・賛助会員・賛助法人の承認 2. 総会議題の確認 3. 議長団の選出 4. 総会の招集通知の文面について 5. 生と性を語るエデュケーター認定に関して 6. 共催依頼 7. 後援依頼 8. プレパパ講座について 9. 100周年記念行事について 10. 産後ケアのトラブルの件
第5回臨時理事会 2026年5月31日	<審議事項> 1. 2025年度決算書類 2. 調布市への通知文 3. 産後ケア事業注意喚起 4. 100周年記念式典寄付金

(2) 地区分会長会議

担当理事：荒慶子 戸塚麻美 清水幹子 （すべて WEB 開催）

開催日	内 容
第1回 2025年7月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会報告 ・会計システム整備に関する質疑応答
第2回 2025年9月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会報告 ・情報交換（予算要望：産後ケア、性教育） ・狛江地区分会と調布地区分会の合併について
第3回 2025年12月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会報告 ・選挙管理委員会より役員立候補・推薦募集 ・会計システム整備に関する質疑応答
第4回 2026年1月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会報告 ・質疑応答
第5回 2026年3月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会報告

3) 専門部会事業報告

【助産所部会】

担当理事：鷹巣淳子 青柳三代子 委員長：野口としの

委員：齋藤吏香 筏井沙織 松井絢子 吉田樹里 石村あさ子 亀山裕子

委員会：6回開催

目標：①助産所の業務が遂行できるように支援していく。

②実践で使える助産技術の習得のための研修をおこなう。

活動：①開業希望の助産師の現状の把握 相談窓口開設 新たな担当で対応準備をした

②連携医療機関の現状の把握

助産所と嘱託医療機関等連携支援事業グループヒアリングを開催（11/6）

3月に次回ヒアリング実施予定

③連携医療機関への搬送の手順の周知 助産所部会集会で周知

④委員による対面での安全管理評価

今年度は他者評価（ZOOM）とし、委員で集計・報告

C判定の項目がある助産所へはフィードバックし、改善に努めるよう声かけ・支援し

安全な助産所運営ができるよう働きかけ。今年度の評価内容により次年度対面評価

するか検討。安全性を高めるための取り組みを実施する

分娩件数把握のため独自に収集、今後は分娩データシステムの導入・入力を各助産所で徹底するよう指導

⑤助産所部会集会を開催し（2回）情報交換をする

1回目12/14 ZOOMにて開催：21名参加 東京都の搬送ルールの確認や搬送先について困っていることなど情報共有 共有2回目3月（未定） ZOOMにて開催予定

⑥各医療連携会議への参加、医療連携に関する書類作成及び連携助産所の確認

ハンズの会

葛飾日赤連携会議＊日赤医療センター連携会議

周産期搬送体制検証部会（東京都主催）

周産期医療協議会

多摩地域周産期連携会議

区東北部地域周産期連携会議

医療情報に関する理解促進委員会（G-MIS）

その他各医療連携会議等は委員で分担し、参加している

⑦東京都委託講習会（1回）安全管理研修会（1回）

・安全管理研修：「古くて新しい産科救急」（10/21）東京葛飾赤十字母子医療センター林先生による研修会を開催した。CLOCMiP選択研修とし14名に修了証を発行

・東京都委託講習会：「新生児医療の最新知見」（11/29）の運営に取り組んだ

4月より役割分担し、講師への連絡調整・依頼状作成申請書提出・資料の確認・当日の運営を実施。終了後講師へのお礼とアンケート送付、事務局へ参加者名簿提出

次年度以降スムーズに準備運営できるよう、助産所部会が担当する部分についての流れを追加・整理した。

評価：安全管理評価に関しては、助産所の安全性を高める意味でも自己評価だけでなく他者評価にすることで、より信頼のおける助産所運営ができると考える。総合的に今年度の目標はおおむね達成できたが、今後も引き続きより良い助産所運営のために検討を重ね取り組んでいきたい。

【施設勤務部会】

担当理事：相沢澄子 委員長：宮城紗弥子

委員：岩田敦子 戸塚麻美 高橋有希 齋藤りさ

委員会：4回開催（メール会議2回）

目標：①東京都助産師会の会員数を増やすことができる

②施設勤務部会の会員が魅力を感じる東京都助産師会とすることができる

活動：①11月6日 荒田尚子先生「インターコンセプションケア」オンライン形式 73名参加

②3月1日 助産師会館で映画「マイクロバス」上映会を開催した。また上映後には、助産所部会・保健指導部会・施設勤務部会の三部会合同で交流会を行った。

評価：委託講習会11月6日(木)13：30～16：30 宮下先生「乳腺炎予防」

→参加者の50%が施設勤務助産師であった。

11月12日(水)13：30～16：30 荒田先生

→参加者の42%が施設勤務助産師であった。

施設勤務部会担当のテーマは施設勤務助産師のニーズに即していたことが窺えた。他にも教育委員会担当のGDM/HDPの最新知見、経陰エコーの講座で施設勤務助産師の参加が多数を占めていた。

施設勤務助産師のニーズに合ったテーマ選択の参考にしたい。

安全管理研修、キャリア支援研修

施設勤務部会内での方向性が定まらず、今年度は開催なし。

施設勤務部会会員ニーズの把握

来年度からの方向性と具体的なアクションについて話し合うことができた。そして、施設勤務部会会員からの活動ニーズ調査を実施した

その他：全国的にも施設勤務助産師の活動参加が少ない現状が共有された。11月7日に開催された日本助産師会施設勤務部会長研修「地域でつながろう」集会への参加も呼びかけた。

【保健指導部会】

担当理事：大坪三保子 委員長：武田雅子

委員：牧野好恵 板橋知子 井澤郷子 中理恵 荒慶子

委員会：4回開催

目標：①部会員の保健指導に関する知識を深め、技術向上を図る。

②部会員の職務上必要な自己評価および業務を安全に遂行できるよう支援する

③部会員の活動状況を把握し、連携を図る。

④部会員のニーズに応じた活動の推進。

⑤委員会活動の活性化を図る。

評価：①部会員の保健指導に関する知識を深め技術向上を図る

委託講習会4講座の企画運営。委託講習会のアンケート結果では受講者の満足度は高く、今後の活動にもほぼ100%が役立つと回答されていた。

②部会員の職務上必要な自己評価および業務を安全に遂行できるよう支援する

日本助産師会からの業務安全管理評価について会員への提出依頼、および集計に協力した。会員自身の業務や活動を安全管理の視点で振り返り、安全に助産師業務が遂行できるよう、安全管理評価表の活用に向けて、周知方法及び、必要性和協力の呼びかけについて検討する。昨年同様事務局に出向いての集計作業であり、委員の負担軽減を考え、手作業でないデータ集計が望まれる

③部会員の活動状況の把握し、連携を図る

今年度は会員全体への活動状況調査は実施していない。

中日アド企画〈助産師相談コーナー〉の充実、継続。まなびびオンラインセミナー講師依頼

④部会員のニーズに応じた活動の推進

委託講習会のアンケートから得られる要望を元に次年度の講習会に反映させていきたい。

⑤委員会活動の活性化を図る。また委員の増員をする

交流会の開催、新生児蘇生法講習会の開催の実現に向け、大学との連携等一定の進展はあったものの今年度は実現していない。新規委員に2名入った。

【総務総括委員会】

担当理事：赤山美智代 岩田敦子 小山内泰代 委員長：村田淳子

委員：石村あさ子 板橋知子 北目利子 山本弥生

委員会：5回開催

目標：①会員の各表彰の推薦事業がスムーズに行われるようにサポートする。

②会員にも幅広く広報するために、地区分会長会議を活用し、候補者を募る。

③総会がスムーズに行われるようにサポートする。

評価：式典から総会終了まで特に問題なかった

反省点 ・会場の準備については次年度以降スムーズにできるように画像を残した

・総会準備担当者と来賓者・理事の休憩室を分けておくべきだった

(休憩室が込み合い落ち着かなかったとの意見あり)

2025年度表彰受賞者(敬称略)

- ・日本助産師会会長表彰 石川真由美 春名めぐみ 古川純子
- ・東京都功労者賞(令和7年10月) 片岡弥恵子
- ・母子保健奨励賞(令和7年11月) 井出陽子
- ・医療功労者賞(令和8年2月予定) 今村理恵子

推薦事業：今年度はほぼ目標に達成できた。

【広報委員会】

担当理事：荒慶子 委員長：西川直子

委員：太田歩美 三好しのぶ 渡辺愛

委員会：5回開催

目標：本会の活動の情報等を会員、母子とその家族、社会に幅広く発信する

評価：

① Tokyo サンバ通信は、年2回(9月、3月)の発行

部会・委員会活動報告に加え、各地区分会活動紹介を掲載した。毎号、安全管理委員会から「助産師あんの小部屋」のコーナーも増設した。

② メルマガは、毎月10日配信。配信回数23回(サンバ通信2回、保健指導部からの至急報告として配信した臨時便2回を含む)。登録者数は1174。

③ SNS の活用 Facebook(フォロワー1374)、X(フォロワー323)、Instagram(フォロワー1380)にて情報発信している。依頼があれば、配信している。

④ 座談会のオンライン開催 年2回

2025年7月1日 テーマ：「伴走型支援」(参加者43名)

2025年11月7日 テーマ：「施設と地域の助産師連携～産前産後を一緒に考える～」(参加者49名)

【政策提言委員会】

担当理事：赤山美智代 委員長：青柳三代子

委員：鈴木享子 小山内泰代 代表理事 専務理事 常務理事

目標：

1. 要望書の作成
2. 東京都保健医療局医療政策部・教育庁への交渉
3. 要望書陳情活動と要望への回答の評価
4. 各地区分会の要望活動の推進
5. 東京都委託講習会の企画・運営
6. 勉強会開催「効果的な要望書の作成・ヒアリング・ロビー活動について」
7. 分娩費用の保険適応化について情報収集と会員への周知のための勉強会

評価：

1. 令和8年度の政策要望書を作成し、各東京都議会政党に要望書を提出した。要望書作成にあたり、各地区分会からの要望を聞き委員の活動分野を考慮して役割分担し作成後、意見交換して作成した。
2. 各関係部署への要望も都議会議員へのヒアリング前に実施し、要望実現に向けての活動をした。
3. 昨年度の各政党・東京都からの回答を要望書にも反映させたことにより要望内容の制度が上がっていると思われる。本務などの理由で、実際の要望書手交時の参加者が少なかったが、来年度以降は委員以外の理事にも参加いただけるよう早めに声かけしていく必要がある。
4. 勉強会開催などにより活動の後押しはできていると思われるがその成果についても確認は必要と思われる。
5. 11月30日（日）9：30～12：30 東京都委託講習会をZOOMにて開催
テーマ：助産ケアをつなげる
講師：出張さんばステーション日野春 松浦助産院 院長 松浦照子氏
ゆりかご助産院 院長 赤塚庸子
参加者：41名
参加者全員が大変満足、満足と答えており「女性に寄り添うこと、助産師の育成など大変充実した時間となった」など大変好評だった。
6. 政策提言委員会主催勉強会
8月8日（金）19：30～21：00 ZOOMにて参加者36名
効果的な要望書の作成と関係部署へのアプローチの仕方
実際の活動について 江東区の活動 石村あさこさん
産後ケア特別委員会からの報告 棚木めぐみさん
7. 厚生労働省保険局 保険課長面談し助産所における自然分娩の実際と搬送事例となった場合の収入の算出について意見交換
その後の情勢は日本助産師会からの報告集会への参加により各助産所が意見交換することとなった。

【令和8年度要望事項】

1. すべての出産を経験する女性が、産前産後のケア・支援サービスを利用できるよう支援されたい。また、地域で母子を支援する助産師の参画が推進されるよう区市町村に周知を図られたい。
2. 助産所における安全で 安心な分娩を支援されたい。
3. 安心して妊娠・出産・子育てができる社会を実現するために、地域や施設で活動する助産師の能力の向上にむけた取り組み推進されたい。
4. NICU入院児の在宅療養への円満な移行及び退院後の安定した生活の継続のために、母親への支援において、地域の助産師の活動を推進されたい。
5. 妊婦向け助産師オンライン相談の予算を令和7年度以降も継続されたい。
中学校・高校における助産師による包括的性教育の実施を推進していただきたい。

日時	要望先	参加者	備考
7月3日	東京都保健局医療政策部医療人材課	2	
7月30日	厚生労働省	4	
8月13日	東京都保健医療局医療政策部医療人材課	3	
9月3日	東京都議会自民党・立憲民主党・公明党	6	
9月5日	東京都議会都民ファースト・東京都教育庁	5	
10月3日	自民党東京都連予算要望	5	国家予算要望
10月21日	東京都教育庁指導部（水道橋）	3	
12月5日	東京都知事 小池百合子氏	5	

【教育委員会】

担当理事：戸塚麻美 委員長：桑原さやか

委員：池田真弓 石川祐香 梅村泉美 宮城紗弥子 北川真貴 澤田あさみ 三木佳代子

委員会：5回開催

目標：①東京都委託助産師教育指導講習会の計画と運営

②NCPRの物品管理

③委員会開催 5回開催

評価：

1) 東京都委託助産師教育指導講習会の計画と運営

→計画通り実施した。

- ・対面開催9講座（9月4講座、11月3講座、12月2講座）、オンライン講座9講座、合計18講座を計画通りに開催した。2月に6講座（うち対面1講座）を開催する。
- ・9月の講義日程が立て続いたため、次年度は調整していく。
- ・講座によって受講者数の差が大きく、テーマの設定や表現方が課題である。
- ・平日開催が増えたことで、当日の問い合わせやトラブル等にスムーズに対応できた。
- ・アンケートの回収率にはばらつきがあるものの、結果は概ね良好（大変満足、大変役に立つ）であった。アンケートは途中休憩時にもスライド表示したことで、回収率が上がった。
- ・対面講座の際のアンケート回収率が低いため工夫が必要である。
- ・資料の配布を希望する意見があったため、今後は講師依頼する際に配布資料の作成も依頼していく必要がある。

2) NCPRの物品管理

→計画通り実施した。

- ・リストに基づき、物品の整理を行った。
- ・2023年度に貸出規定を作成し、貸出実績は2023年度4件、2024年度2件、2025年度は4件であった。
- ・今後も継続的に確認を行い、必要に応じて物品等の補充を行う。

3) 委員会開催（年5回）

→計画通り実施した。

- ・8月 12月 1月 2月 3月にzoomにて開催した。

令和7年度 東京都委託助産師教育指導講習会 プログラム

	開催日	会場	開催時間	講座テーマ	講師(敬称略)
第1回 保健指導に役立てよう	9/5 (金)	東京都助産師会館	13:30 ~ 16:30	災害時における被災者の尊厳と被災者支援	東京都保健医療局 医療政策部 災害医療担当課長 上村 淳司
	9/8 (月)	東京都助産師会館	13:30 ~ 16:30	不登校の理解と支援 一助産師だからできる“気づく”寄り添う“つなげる”支援一	跡見学園女子大学 心理学部 臨床心理学科 教授 小栗 貴弘
	9/9 (火)	東京都助産師会館	9:30 ~ 12:30	本当に医療支援が必要な子供の見分け方	一般社団法人 sodatsu-co 代表理事 中原 規予 (理学療法士) 理事 得原 藍 (理学療法士)
	9/10 (水)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	外科医から見た乳腺炎の診断と治療	練馬駅前内視鏡・乳腺クリニック 院長 佐貴 潤一
	9/11 (木)	東京都助産師会館	13:30 ~ 16:30	赤ちゃんの眠りについて	茨城キリスト教大学 准教授 清水 悦子
	9/16 (火)	ZOOM	13:00 ~ 16:00	父親の育児支援	国立成育医療研究センター研究所 政策科学研究部 部長 竹原 健二
第2回 最新の周産期知見	11/6 (木)	東京都助産師会館	9:30 ~ 12:30	医療者と当事者への中絶教育のあり方を考える:イギリスの医療者への包括的中絶教育を手がかりに	静岡大学 人文社会科学部 教授 白井 千晶
	11/6 (木)	東京都助産師会館	13:30 ~ 16:30	乳腺炎予防	みやした助産院 院長 宮下 美代子
	11/12 (水)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	インターコンセプションケア	国立成育医療研究センター 女性総合診療センター 女性内科 診療部長 荒田 尚子
	11/28 (金)	東京都助産師会館	13:30 ~ 16:30	産婦人科経陰陰エコーのすべて	東京山手メディカルセンター 副院長 産婦人科部長 小林 浩一
	11/29 (土)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	新生児の最新知見	日本大学医学部小児科学系小児科学分野 主任教授 森岡 一朗
	11/30(日)	ZOOM	9:30 ~ 12:30	助産師ケアをつなげる	出張さんばステーション日野春 松浦助産院 院長 松浦 照子 ゆりかご助産院 院長 赤塚 庸子
第3回 専門的自立能力	12/3 (水)	ZOOM	13:30 ~ 16:00	ビル・更年期	みやぎレディースクリニック 院長 宮岸 玲子
	12/4 (木)	東京都助産師会館	13:30 ~ 16:30	助産師の育児支援に活かす ペアレントトレーニング体験講座	東京大学 精神保健学専門職学位課程 東京都立多摩北部医療センター 小児科医員 横山 はるな
	12/6 (土)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	子どもにふれることの大切さ 愛着の形成・育てにくさとの関係	桜美林大学リベラルアーツ学群 教授 山口 創
	12/9 (火)	ZOOM	9:30 ~ 12:00	赤ちゃんの頭のかたち ～助産師のための評価・ケア・家族支援～	0歳からの頭のかたちクリニック 顧問医師 草川 功
	12/12 (金)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	HDP/GDMの最新知見	都立墨東病院 産婦人科 責任部長 兵藤 博信
	12/19 (金)	東京都助産師会館	13:30 ~ 16:30	産後ケアにおけるだっこ・おんぶ支援の実践	Umbilicus 大久保 久美 / 平尾 時栄
第4回 ウェルメンスヘルス	2/3 (火)	ZOOM	13:30 ~ 16:00	乳幼児期の発達障害の兆候と対応ポイント	神尾陽子クリニック 院長 神尾 陽子
	2/7 (土)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	産後ケア事業と助産師の未来を語ろう!	聖路加国際大学大学院 教授 片岡 弥恵子
	2/9 (月)	ZOOM	13:00 ~ 16:00	無痛分娩における助産師の役割	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 愛育病院 LDR/手術室 副師長 頓所 真美
	2/13 (金)	東京都助産師会館	9:30 ~ 12:30	周産期におけるフィットセラピーの 活用可能性	ソフィアフィットセラピーカレッジ 校長 池田 明子
	2/14 (土)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	SOGIESC(ソジエスク)って何だろう? 助産師が知っておくべきLGBT講座	(一社)調布LGBT&アライの会 代表理事 棚木 めぐみ
	2/21 (土)	ZOOM	14:00 ~ 16:30	ユースクリニックを通して考える 性と生殖の健康と権利	藤沢女性のクリニックもんま 院長 門間 美佳

【いのちの教育委員会】

担当理事：清水幹子 委員長：板橋知子

委員：井出陽子 岩佐一恵 幸崎若菜 塚本真弓 土屋麻由美 牧野好恵 森下恵理子 若原彩香

委員会：定例5回開催 研修会前打ち合わせ3回、他係のラインミーティング多数

目標：

1. 会員が包括的性教育における学びを深めるため、性教育（いのちの教育）などの最新知識の習得、技術の向上を図るための情報を提供する。
2. 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」について会員への周知活動を行い、認定者の増員を図る。
3. 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」による充実した包括的性教育の実践、またその拡大をする。
4. 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」間の交流の充実を図る。

活動：

1. 会員が包括的性教育における学びを深めるため、性教育（いのちの教育）などの最新知識の習得、技術の向上を図るための情報を提供する。
年3回（東京都委託助産師教育指導講習会を含む）の研修会を開催した。
 - ・6月15日「経口中絶薬承認から2年 現場のリアルと課題」
谷口 武先生 参加者69名
一般の方や医師、製薬会社、NPO団体の方の参加もあった。タイムリーな内容であり、関心が高く、研修会の満足度は満足、やや満足が多くを占める結果であった。
 - ・11月6日東京都委託助産師教育指導講習会
「医療者と当事者への中絶教育のあり方を考える：イギリスの医療者への包括的中絶教育を手がかりに」
静岡大学人文社会科学部社会学科 白井千晶教授 参加者33名
中絶の状況、他の国との比較や、参考になるサイトの紹介があった。ベースに包括的性教育があれば、人権やその人の選択する権利などの理解につながり、その大切さを改めて感じた。
社会学的に性教育を学んでいく必要があると感じた講座だった。
 - ・1月18日「孤立と性のはざままで生きる若者たち—今、私たちにできること—」
特定非営利活動法人BONDプロジェクト 橘ジュン氏
※研修のオンデマンド配信について 実施せず

【評価】：

1. タイムリーな話題の提供ができたと思われる。若者が置かれている現状を把握して、何に悩み、何を知らたいか、何に困っているのか、知っておく必要があることを理解したうえで性教育の実施ができると思われる。次年度は年齢の幅を広げた講座を取り入れたい。
2. 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」について会員への周知活動を行い、認定者の増員を図る。
新規申請者増員のため、東京都助産師会HP、メルマガ等に募集要項を投稿し、講習会での周知活動をした。
申請時期：4月、10月、認定時期：5月、11月、認定書類発送：7月、1月
新規エドゥケーター認定者：春期3名・秋期1名
更新エドゥケーター認定者：9名（2名更新辞退、1名延期）があり、増員できた。
今年度は新規希望者が少なかったが、応募要件を満たした方からの問い合わせが数件あり、次回以降の新規申請を期待したい。また次年度の更新者が多く、継続を期待したい。
3. 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」による充実した包括的性教育の実践、またその拡大をする。
 - ・今年度の依頼件数25件（うち15件が新規依頼）東京都助産師会依頼（昨年度は31件）
 - ・新規・更新エドゥケーターの個人面談（1対2～3）をし、性教育に対する考え方、やってみたいこと委員会に期待することなど共有した。（13件）
 - ・性教育実施未経験のエドゥケーター候補の模擬授業の実施・評価（2件）
 - ・新規エドゥケーターの初回実施時に委員の見学・評価の実施（2件）
 - ・エドゥケーター申請希望者・エドゥケーターへの教育

【エドゥケーター】性教育講座

見学可能講座：先輩エドゥケーターによる性教育講演の見学システムの活用（4件）

・レインボープライドパレード参加における準備調整・実施

棚木めぐみ氏とともに4月後半に開催。主催者とのやり取りを把握、他団体とのコラボ企画 参加者多数で、次年度に向けて継続的に協力する。

【評価】新規・更新エドゥケーター個人面談により、包括的性教育を行うために必要な知識や考え方の確認ができることがよいと思われる。新規エドゥケーターが初回の実施にあたり不安や確認したいことが相談でき、実施の評価コメントが得られるという利点がある。性教育講座見学に関して、もう少し広げていきたいが、システムの活用なしに見学を受け入れているエドゥケーターが活用できるように勧めていきたい。

4. 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」間の交流の充実を図る。

エドゥケーター間の交流会：2月4日 20：00～ ユースクリニックの現状について、委員の幸崎若菜氏がZOOMにて周知、その後エドゥケーター交流会を行った。

【医療安全管理室】

室長：山本智美 委員：五十嵐由美子 齊藤順子 舘入祥子 新田真弓 林田聖子
星野雄子（助産所部会） 板橋知子（保健指導部会）

【助産業務安全対策委員会】

担当理事：宗尚子

委員：青柳三代子 新野由子 比嘉美貴 鷹巣淳子 相沢澄子 大坪三保子

委員会：7回開催（臨時開催1回を含む）

目標：①地域の母子やその家族へ助産業務が安全に行えるよう対策を講じる
②会員への安全の啓蒙

活動：

1. 医療安全管理室から報告されたインシデント・アクシデントレポートの検討
訪問時の商品販売に関するクレーム事例⇒HPに注意喚起を掲載
オンライン相談利用者からの誹謗中傷等への対応について検討
2. インシデント・アクシデントレポートの活性化
サンバ通信に「助産師あんぜんの小部屋」のコラムを掲載し、報告を推進
3. 令和7年2月に報告された産後ケア施設における事案につき、当該助産所における産後ケア実施の際の安全性の確保について、改善点を検討
4. 産後ケア実施における安全性の確保についての注意勧告をHPに掲載
5. 産後ケア事業実施の際の行政からの実施施設に対する対応について、当該行政と協議および要望提出
6. 日本助産師会へ助産師業務安全管理評価表の提出
7. 日本助産師会からの医療安全管理体制についてのアンケート回答

【災害対策委員会】

担当理事：小山内泰代 委員長：榎本裕子

委員：名嘉眞あけみ 熊谷典子 光武智美 柴亜希子 小沼詠子

委員会：15回開催

目標：①同じ医療圏の地区分会同士が自主的に交流できるようにする
②地区分会交流を通して災害時支援活動が具体化できるようにする
③東京都との協定読み合わせ
④安否確認アルゴリズムの整理

活動：

1. 東京都委託助産師教育講習会・・・対面形式
9/5 テーマ：「災害時における被災者の尊厳と被災者支援」
東京都 保健医療局 医療政策部 災害医療担当課長 上村淳司氏
申し込み36名 参加者28名：台風の影響ありか
2. 日本助産師会災害対策連携集会・・・オンライン形式 11/8 申し込み30名
3. 安否確認訓練 12/24実施
4. 災害対策地区分会交流会
1/22 助産師会館にて対面形式
・東京都との協定読み合わせの結果報告
・アクションカードを作ってみよう

評価：

- ①②自主的な交流・災害時支援活動の具体化を目指し交流会実施（1月22日）。災害時MWネットワークLINEを活用し、常時より疑問点の投げかけ・回答の共有により交流の促進は発展しているが、詳細な評価は今後の課題である。
- ③東京都との協定読み合わせは、報告参照2026年1月8日
平成19年に結んだ協定の認識のすり合わせに臨んだが、この18年で法律も増えこの場で東京都助産師会が考える認識を「その通りです」とは言えないと、持ち帰られた。しかしながらこの場で発災した場合、この協定書を頼りに、東京都助産師会はこの認識と疑問を持ちながら活動することを伝えた。
(ア)安否確認の流れについて【安否確認と支援の流れ】を作成（別紙）
どのタイミングで、誰から、何を、どのように、発信し情報共有していくかを明確にし、東京都助産師会のホームページに紐づけ会員誰でもか確認できることを目指し作成した。

【産後ケア推進特別委員会】

担当理事：大坪三保子 委員長：片岡弥恵子
委員：佐々木美幸 一之瀬浩美 安田裕美子 棚木めぐみ 小西美樹
委員会：5回開催
目標：政策要望の根拠となるデータを集積する

活動：

- ① 東京都内自治体の産後ケア事業の実態調査（第1回）の実施
- ② 産後ケア事業の実態調査の継続に向けての体制構築
- ③ 東京都委託講習会の担当

評価：

- ① 東京都内の自治体の産後ケア事業の実態について調査を行った。調査は、各自治体のHPの閲覧、地区分会長等へのヒアリングにて行った。最終的には、地区分会に情報の正確性を確認してもらった。調査結果は、本会の要望等に活用することができた。
- ② 各自治体の産後ケア事業実態について、最新のデータを把握するための体制を検討した。2025年度の調査結果をドライブに格納し、地区分会長（または担当者）がアクセスできるよう設定してもらった。今後は、年に1回、データを最新化するよう手順を整備した。
- ③ 委託講習会は2026年2月に2回実施した。

子育て女性健康支援センター

電話相談 毎週火・木曜日 10:00～16:00 相談件数 104件

妊産婦のためのオンライン相談

2025年4月1日から2026年3月31日まで東京都委託事業として実施。相談件数 908件

法人の運営体制の充実を図るための取組について

本会では、助産業務における安全性の確保及びリスク管理体制の強化を目的として、助産業務安全対策委員会とは独立した組織である医療安全管理室を設置し、定期的な検討を行った。医療安全管理室は2か月ごとに開催し、発生した事故や事案について原因分析及び検証を実施するとともに、その結果を助産業務安全対策委員会へ報告し、再発防止策及び安全対策の検討につなげる体制を整備している。

また、会議には外部専門家である弁護士の参加を得て、法的観点を踏まえた助言及び検証を行うことにより、客観性及び透明性の確保に努めた。さらに、インシデント・アクシデントレポートの提出を継続的に推進し、情報の収集・分析を通じて医療安全意識の向上及び組織的な再発防止体制の強化を図った。

23区15地区分会及び多摩地区8地区分会からなる地域ネットワーク及び三専門部会の組織体制を活用し、地域特性や助産師の活動実態を踏まえた事業運営を行った。

地区分会会長会議を開催して各支部の状況を共有し、各地区分会において会員間の連携強化及び情報共有を推進するとともに、母子保健に関する普及啓発活動や相談支援活動を展開し、地域住民の健康増進に寄与した。また、地区分会及び専門部会との協働により、公益目的事業を安定的かつ効果的に実施するための組織基盤の強化に努めた。